

# レジストリ設定参考資料

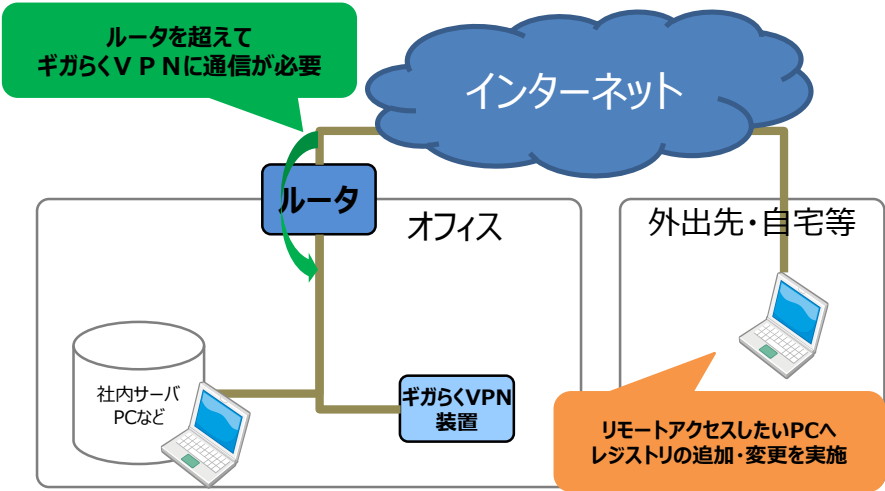
## ■ 本参考資料のご利用における注意事項

- ① 本参考資料の利用にあたっては、お客様の責任に基づいて設定を実施いただくことを予めご了承ください。また、レジストリ編集により発生したいかなる問題に対しても、当社は保証いたしかねます。
- ② レジストリはWindowsシステムの非常に重要な設定ファイルです。設定を誤るとWindowsが起動しなくなる、リカバリー再セットアップが必要となる事態が発生する恐れがあるためご注意ください。
- ③ レジストリを編集する際には、あらかじめレジストリのバックアップや復元ポイントの作成しておくことをお勧めいたします。  
(参考手順については10ページをご確認ください)

# レジストリ追加・変更が必要な場合

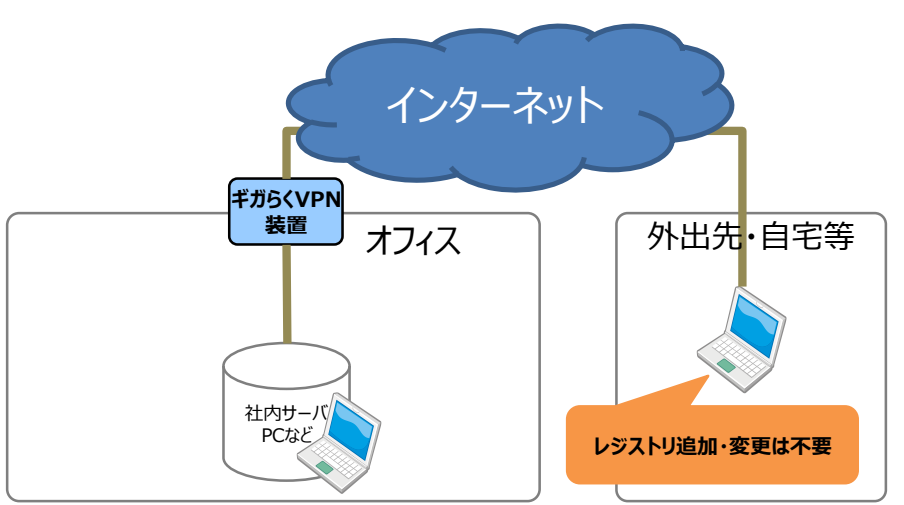
お客様のリモートアクセス機能ご利用環境により、本マニュアルによるレジストリ追加・変更設定の要否が異なりますのであらかじめご確認ください

**<本マニュアルによる設定が必要>**  
別のルータ下部にギガらくVPNを設置する場合



例：ギガらくVPN装置がルータ配下でありWAN側IPがグローバルアドレスではない場合

**<本マニュアルによる設定が不要>**  
ルータとしてギガらくVPN装置を設置する場合



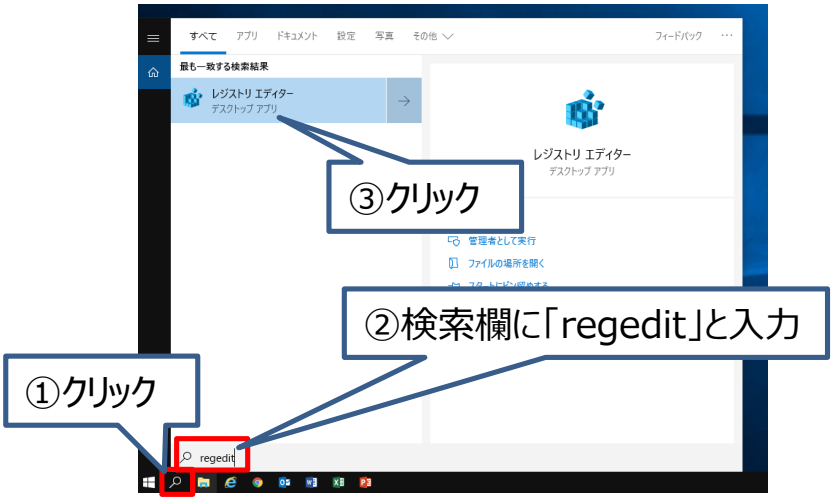
例：ギガらくVPN装置をルータとして設置しWAN側IPがグローバルアドレスの場合

詳細は下記URLをご確認ください  
<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/926179/how-to-configure-an-l2tp-ipsec-server-behind-a-nat-t-device-in-windows>

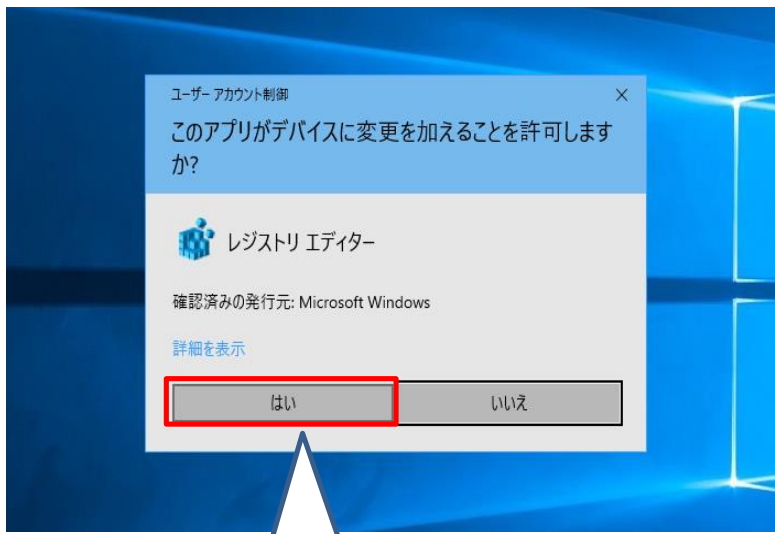
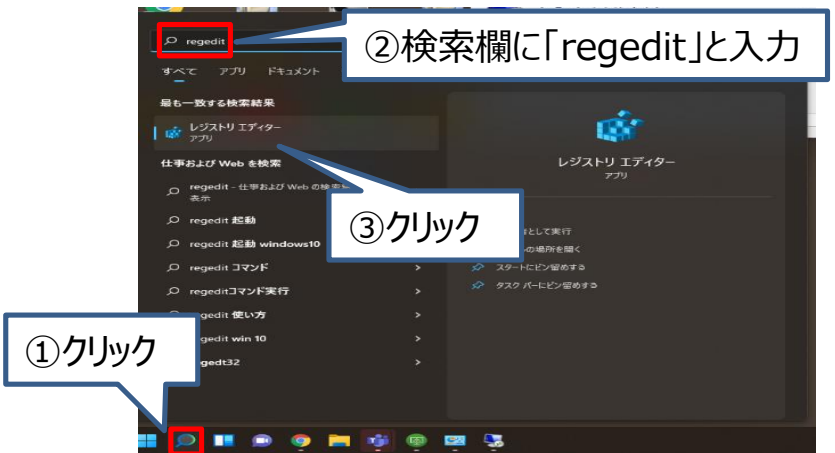
# 1.レジストリエディターを開く

- タスクバーにある 🔍 マークをクリックし、検索欄に「regedit」と入力します。
- 検索結果の「レジストリエディター」をクリックし、「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」 と表示されるので、「はい」をクリックして次に進みます。

## < Windows10の場合 >



## < Windows11の場合 >

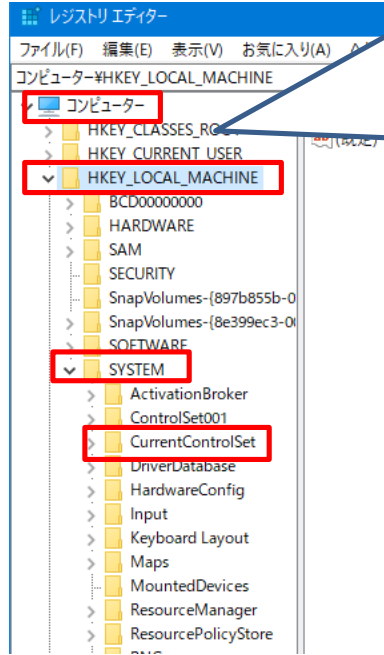
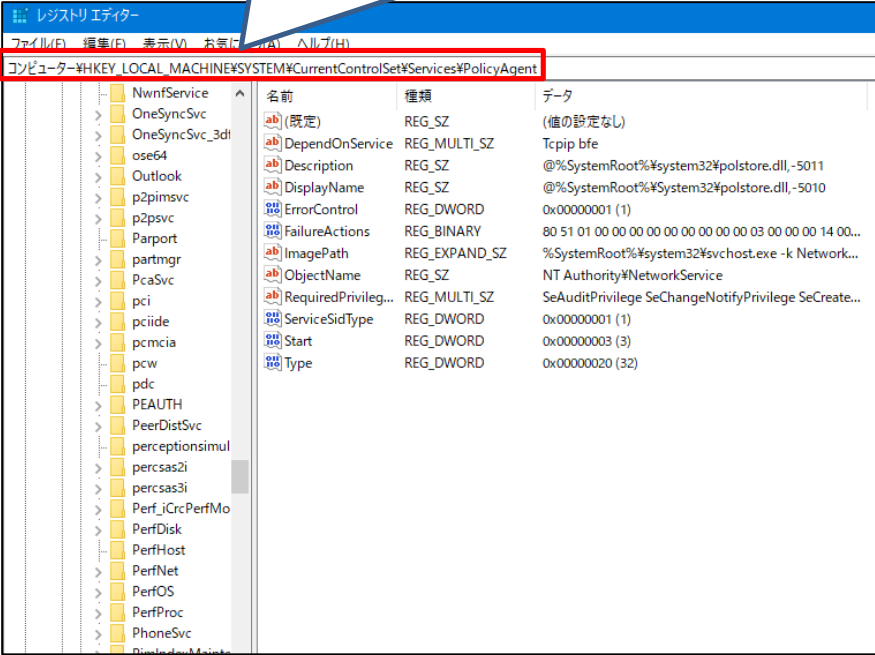


④「はい」で次に進む

# 2.レジストリエディターで対象ディレクトリに移動

- アドレスバーに下記のアドレスを入力して移動します。  
「**コンピューター\HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\PolicyAgent**」
- ※ 「コンピューター」→「HKEY\_LOCAL\_MACHINE」→「SYSTEM」→「CurrentControlSet」→「Services」→「PolicyAgent」の順にクリックして移動することもできます。

アドレスバーをクリックして下記のアドレスを入力します。  
**コンピューター\HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\PolicyAgent**



コンピューター  
→HKEY\_LOCAL\_MACHINE  
→SYSTEM  
→CurrentControlSet  
→Services  
→PolicyAgent  
の順にフォルダを探してクリックすることで移動も可能です。

# 3.レジストリエディターの対象場所一覧を確認

- 一覧を確認して「AssumeUDPEncapsulationContextOnSendRule」という名前の項目が存在した場合7ページに移動します。
- 初期状態では上記の項目が存在しないので、新規作成します。

名前	種類	データ
(既定)	REG_SZ	(値の設定なし)
DependOnService	REG_MULTI_SZ	Tcpip bfe
Description	REG_SZ	@%SystemRoot%\%system32%\polstor...
DisplayName	REG_SZ	@%SystemRoot%\%system32%\polstor...
ErrorControl	REG_DWORD	0x00000001 (1)
FailureActions	REG_BINARY	80 51 01 00 00 00 00 00 00 00 00 ...
ImagePath	REG_EXPAND...	%SystemRoot%\%system32%\svchost.ex...
ObjectName	REG_SZ	NT Authority\NetworkService
RequiredPrivileges	REG_MULTI_SZ	SeAuditPrivilege SeChangeNotifyPrivl...
ServiceSidType	REG_DWORD	0x00000001 (1)
Start	REG_DWORD	0x00000003 (3)
Type	REG_DWORD	0x00000020 (32)

「AssumeUDPEncapsulationContextOnSendRule」という名前の項目があるかどうか確認します。

# 4.レジストリの項目追加

- 何もない部分を右クリックし「新規」→「DWORD(32ビット)値」を選択します。

The screenshot shows the Windows Registry Editor interface. A table lists registry values with columns for Name, Type, and Data. A context menu is open over the empty space below the table, with 'DWORD (32-bit) Value (D)' highlighted in red. A blue circle highlights the empty space with the text 'この辺りで右クリック' (Right-click here). A callout box points to the selected menu item with the text '「DWORD(32ビット)値」を選択します。' (Select 'DWORD (32-bit) Value').

名前	種類	データ
(既定)	REG_SZ	(値の設定なし)
DependOnService	REG_MULTI_SZ	Tcpip bfe
Description	REG_SZ	@%SystemRoot%\system32\polstore...
DisplayName	REG_SZ	@%SystemRoot%\System32\polstor...
ErrorControl	REG_DWORD	0x00000001 (1)
FailureActions	REG_BINARY	80 51 01 00 00 00 00 00 00 00 ...
ImagePath	REG_EXPAND...	%SystemRoot%\system32\svchost.ex...
ObjectName	REG_SZ	NT Authority\NetworkService
RequiredPrivileges	REG_MULTI_SZ	SeAuditPrivilege SeChangeNotifyPrivil...
ServiceSidType	REG_DWORD	0x00000001 (1)
Start	REG_DWORD	0x00000003 (3)
Type	REG_DWORD	0x00000020 (32)

# 4.レジストリの項目追加

- 追加した状態では「新しい値 #1」となっているため名前を下記のように修正します。  
「AssumeUDPEncapsulationContextOnSendRule」
- ※ 間違えないように注意してください。

ObjectName	REG_SZ	NT Authority¥NetworkService
RequiredPrivileg...	REG_MULTI_S	
ServiceSidType	REG_DWORD	
Start	REG_DWORD	0
Type	REG_DWORD	0x00000020 (32)
新しい値 #1	REG_DWORD	0x00000000 (0)

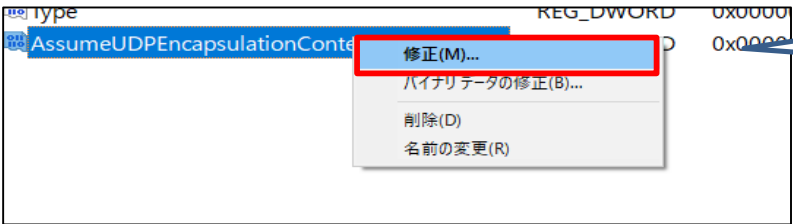
「AssumeUDPEncapsulationContextOnSendRule」に名前を変更する。



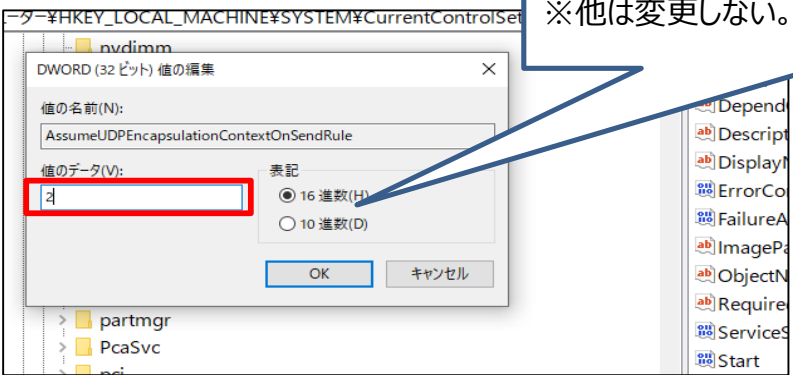
ObjectName	REG_SZ	NT Authority¥NetworkService
RequiredPrivileges	REG_MULTI_SZ	SeAuditPrivilege SeChangeNotifyPrivil...
ServiceSidType	REG_DWORD	0x00000001 (1)
Start	REG_DWORD	0x00000003 (3)
Type	REG_DWORD	0x00000020 (32)
AssumeUDPEncapsulationContextOnSendRule	REG_DWORD	0x00000000 (0)

# 5.レジストリの値を変更

- 追加した状態ではデータの値が「0」となっているため「2」に修正します。



①追加した項目を右クリックし、「修正」を選択する。



②値のデータを「0」→「2」に変更して、「OK」をクリック。  
※他は変更しない。

③データの値が0x00000002(2)と表示されていることを確認する。





# 6.追加内容の確認

- 追加した内容が間違っていないか確認し、間違っていなければウィンドウを「×」ボタンで閉じます。

名前	種類	データ
ab (既定)	REG_SZ	(値の設定なし)
ab DependOnService	REG_MULTI_SZ	Tcpip bfe
ab Description	REG_SZ	@%Sy
ab DisplayName	REG_SZ	@%Sy
io ErrorControl	REG_DWORD	0x00000000
io FailureActions	REG_BINARY	80 51
	REG_EXPAND_SZ	%SystemRoot%\system32\svchost.exe
	REG_SZ	NT Authority\SYSTEM
	REG_MULTI_SZ	SeAuditPrivilegeChangeNotifyPrivilege
	REG_DWORD	0x00000000
	REG_DWORD	0x00000000 (3)
	REG_DWORD	0x00000020 (32)
AssumeUDPEncapsulationContextOnSendRule	REG_DWORD	0x00000002 (2)

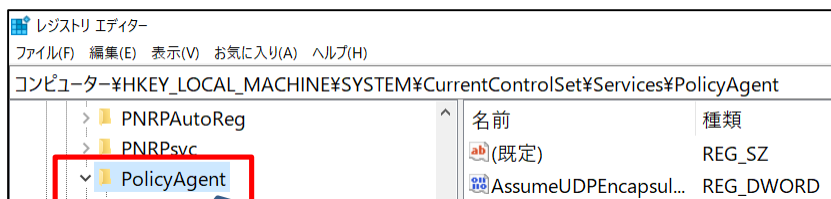
名前が間違っていないか。  
「AssumeUDPEncapsulationContextOnSendRule」

データの値が0x00000002(2)と表示されているか。

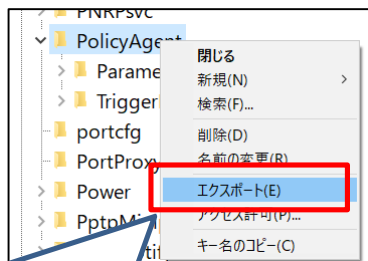
以上でレジストリの追加は終了です。  
レジストリエディターの画面を閉じて、パソコンを再起動してください。  
※再起動するまでレジストリの変更は反映されません。

## (参考) レジストリのバックアップ方法

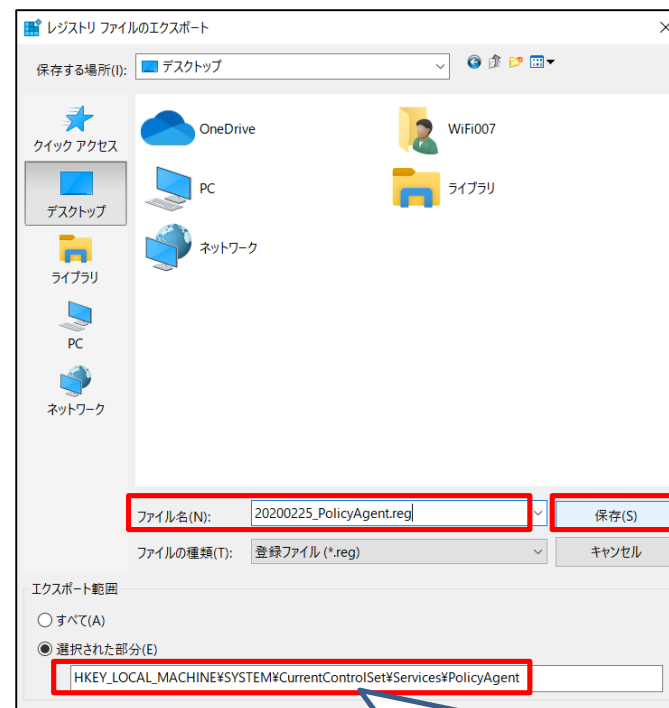
- レジストリエディタでは設定のエクスポート（保存）を行うことが可能です。
- 設定する前にエクスポートをしておくことで、異常があった場合にインポートすることで元の値に戻すことが可能です。



① 保存したいレジストリのフォルダを選択します。  
(例 : PolicyAgent)



② 右クリックして、項目からエクスポートを選択

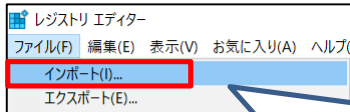


③ 選択された部分に間違いがないか確認し  
任意のファイル名を決定して保存します。

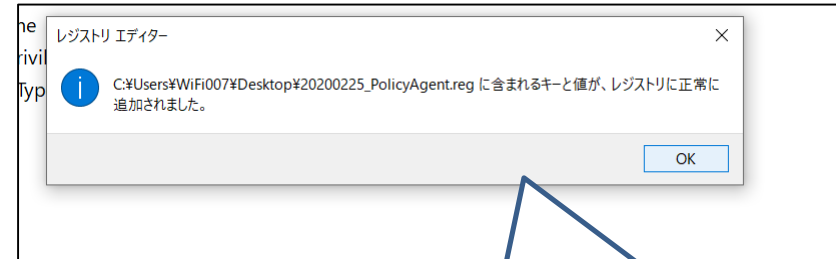
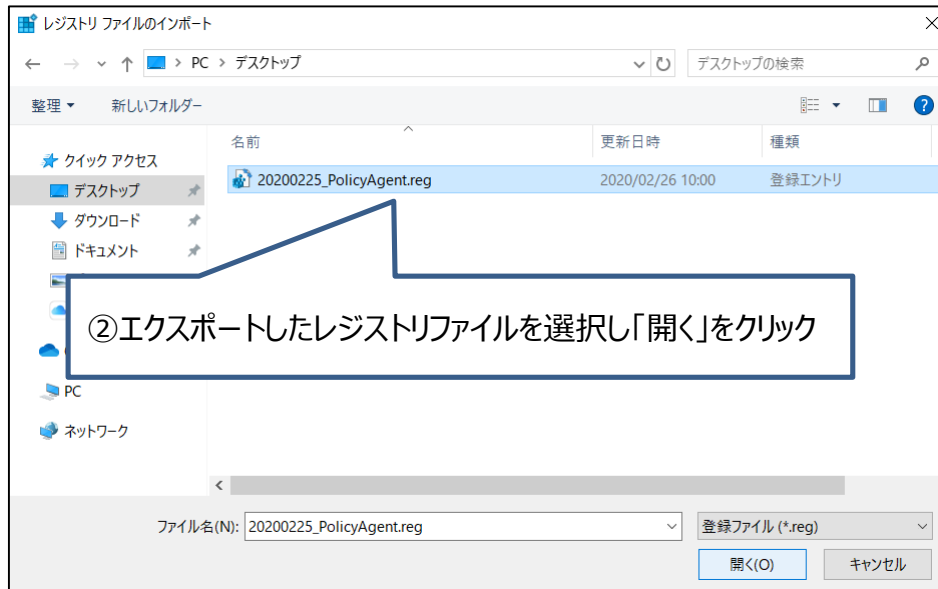
詳細は下記URLをご確認ください  
<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/322756/how-to-back-up-and-restore-the-registry-in-windows>

# (参考) レジストリの復元方法

- レジストリの復元をしたい場合には、エクスポートしたファイルをインポートします。



①「ファイル」からインポートを選択します。



詳細は下記URLをご確認ください  
<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/322756/how-to-back-up-and-restore-the-registry-in-windows>